

第4回みなみ野中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和4年(2022年)3月26日(土)9:30~12:00
場所	みなみ野小学校 2階家庭科室
出席者	参加者:大倉、大淵、大山、川崎、塩沢、野牧、平野、山城 未来デザイン室:今川、野田、橋本 八王子地域 PAL-ETTE:打越、鎌田 高齢者あんしん相談センター片倉:相馬 社会福祉協議会:田辺 第1層生活支援コーディネーター:今泉 (株)アール・ピー・アイ:佐藤、岩崎、樋渡、中井
配付資料	・みなみ野中学校区 地域づくり推進会議資料 ・資料1:第3回みなみ野中学校区地域づくり推進会議 「紙面を完成させよう」 ・資料2:みなみ野中学校区 地域カルテ(案) ・資料3:みなみ野中学校区地域づくり推進会議 地域カルテ追加情報・修正反映状況一覧

1. 開会

未来デザイン室から挨拶。

2. 本日の実施内容の確認

【(1)本日のゴールの確認】

第4回推進会議の検討内容とゴール、流れを確認。

質問・意見なし

3. カルテの出来上がりをイメージしよう

【(1) カルテの編集・意見収集結果の確認】

資料1~3に基づき、第3回推進会議で検討したカルテ編集方針、カルテの掲載内容を確認。表紙については、挙手制で参加者の希望を確認し、資料3のD案をもとに作成することを決定。参加者からカルテ(案)への主な意見は以下のとおり。

(参加者からの主な意見)

表紙について

- ・資料2のD案の写真の黒縁をなくして、周りの白いぼかしをもう少し弱めると良いかもしれない。
表紙は資料2のD案が良いと思うが、真ん中は駅ではなく「みなみ野」らしい写真にしてはどうか。駅の写真は駅そのものが目立つようにトリミングし、カワセミの写真も大きくした方が良い。(推進会議参加者)
駅の写真を大きくするのであれば、駅名が読める程度にした方が良い。(推進会議参加者)
- ・桜の写真は木の形にトリミングにするなど、見せ方を工夫してはどうか。
- ・写真が多く、個人的には見づらい。みなみ野がどのような場所かが見えてこない。
表紙の背景について、みなみ野のカラーイメージはあるか。((株)アール・ピー・アイ)
何にも染まっていないところに、みんなで色をつけていくというイメージで、白のままが良い。(推進会議参加者)
カラーは白で決定。A案~E案でどの案ベースにするのが良いか。((株)アール・ピー・アイ)

D案でほかしは弱めに、写真の点数を減らすことで進めたい。みなみ野のシンボルを中央に持つてくるという話があったが、どの写真が良いか。((株)アール・ピー・アイ)

・みなみ野自然塾 20 周年の人と自然が響き合っている写真が中央にあると良い。

・桜の写真が多いので、桜の写真を減らすと良いのではないか。

・みなみ野小中学校が「みなみ野」の象徴だと思う。小中学校が写っている航空写真を中央に掲載してはどうか。公立で小中一貫校は子育て世代が転入して来るきっかけにもなっているのではないか。

みなみ野君田小学校もあるので、掲載するのであればみなみ野君田小学校も載せた方が良い。(推進会議参加者)

今までの御意見を踏まえて、学校はみなみ野小中学校、みなみ野君田小学校ともに掲載するが、サイズは事務局に一任させていただきたい。表紙の大きな方針としては、資料2の D 案ベースに黒ぶちを削除し、点数を減らす方向で修正する。((株)アール・ピー・アイ)

【(2)修正・気になる点の確認、出来上がりイメージの共有】

資料2・3に基づき、カルテの追加・修正したい内容等を確認。参加者からカルテ(案)への主な意見は、以下のとおり。

P18・19 地域固有ページについて

・「みどりのまち」について、「各種団体では新規参加者募集中」という記載は削除した方が良い。どこかの団体に所属しないとできないような表現ではなく、みんなで少しずつ清掃等を行うことで公園をキレイにしましょうというニュアンスの方が良い。

コメントは「各種団体にみんなで参加して、協力して、まちづくりをしていきましょう。」としてはどうか。(推進会議参加者)

コメントは御意見のとおり修正することとする。追加で情報が必要であれば、二次元コードを入れて各団体のホームページ等にリンクさせる方法も採用できると良いと考える。((株)アール・ピー・アイ)

・18 ページの「風が生まれるまち」は「風が」を「風の」とし、「風の生まれるまち」に修正を。

P20・21「地域資源マップ」について

・マップの右側にある公園の写真は、「みなみ野の丘公園」の写真のみ公園の写真ではなく、公園から見える「ダイヤモンド富士」となっているが、問題ないか。((株)アール・ピー・アイ)

他の公園が公園自体の写真なのでダイヤモンド富士が1つあっても良いのでは。(推進会議参加者)

みなみ野の丘公園は、公園自体が丘が3つ連なっている公園なので、全体を写真で表現するのは難しいため、富士山の写真で良いと思う。(推進会議参加者)

コメントにダイヤモンド富士が見えると記載した方が良い。(推進会議参加者)

みなみ野の丘公園にダイヤモンド富士のコメント入れ、栃谷戸公園のコメントからダイヤモンド富士を削除してはどうか。(推進会議参加者)

栃谷戸公園は「関東富士見百景」に指定されているので、ダイヤモンド富士のコメントは残すべき。(推進会議参加者)

みなみ野の丘公園の富士山の写真は残して、コメントにその旨記載することとする。((株)アール・ピー・アイ)

・マップ全体として、少し隙間があるので、イラストや写真を追加してはどうか。

・兵衛下平公園は保育園も近くにあり、たくさんの子供が遊んでいるので、その写真を入れるのが良いのではないか。

- ・雨の日でも遊べる西片倉只沼公園の写真を入れてはどうか。
- ・緊急給水所(大船給水所)を入れたほうが良い。
- ・カルテ全体の統一として、「みなみ野小中学校」なのか、「みなみ野小学校」と「みなみ野中学校」が別々なのか確認した方が良い。

原則は、「みなみ野小中学校」と記載をしているが、避難場所については指定されている施設の表記をそのまま記載している。担当所管に確認する。(未来デザイン室)

卒業式などでは、「みなみ野小中学校小学校卒業式」となっている。(推進会議参加者)

4. カルテの配布方法等を考えよう

○カルテの効果的な配布方法等について確認。参加者からの主な意見は、以下のとおり。

配布先・配布方法・配布場所(閲覧場所)について

- ・他の中学校区の推進会議での意見はどうだったのか。

共通して言われていたのは転入者に配布した方が良いという意見だった。配布方法の一つとして、市に転入された方へ配布する転入セットに入れて渡すことができる。(未来デザイン室)

転入セットには入れた方が良い。(推進会議参加者)

- ・無駄になるのは抵抗があるので全戸配布は反対である。公共施設等、地域サークル等の活動場所に置いたらどうか。避難場所の把握や、困った時の連絡先が掲載されているので、一人暮らしの方にも配布した方が良い。

- ・必要な人に地域カルテの情報を届けるため、市役所のホームページに地域カルテの PDF をおいて、そこに掲載していることを周知すれば良いのでは。

みなみ野は WEB でのアンケートの回答が他の地区よりも多かったので、ホームページ掲載案は良いと思われる。((株)アール・ピー・アイ)

- ・学校のホームページに載せるのも良い。

更新頻度について

- ・更新は誰が主導でやるのか。

来年度からの推進会議を進める中で決めていきたい。市からの情報提供は必要と考えているが、いずれは中学校区ごとに住民の皆さんが主体的に作ってほしいという思いがある。地域の皆さんが編集作業をすることで、市が主導でやるよりも掲載できることの幅が広がると考えている。(未来デザイン室)

- ・「3年に1回更新(見直し)するかを検討する」ということを決めておけば良いのではないかと。現在の掲載項目をみると、短期間で内容が変わるところはないと思う。

住民主体で地域情報を発信している他自治体の例として、奈良県生駒市では「いこまち宣伝部」というものをつくって、住民が SNS を使って地域情報発信する取組をしている。((株)アール・ピー・アイ)

- ・37 地区全てでカルテを作ると考えると、作っていない地区があるのに、見直しが進む地区があるのは違和感があり、更新の頻度は今決められないのではないかと。37 全地区でカルテを作る方が優先ではないかと。

- ・地域ごとに状況が違うので、地域ごとに更新頻度を決めていけば良いのではないかと。

- ・今後は中学校区ではなく、七国も含め「みなみ野」一体でカルテを作成してほしい。

5. 地域づくりについて

【(1) 地域づくり、(2) 推進会議が目指す姿について】

地域づくりおよび推進会議が目指す姿について、事務局から説明。参加者からの主な意見は、以下のと

おり。

(参加者からの主な意見)

・これまでは地域ごとにニーズのギャップがあっても行政が一律でサービスを提供していたが、そういった考えから脱却しようとしているのだと感じた。地域ごとのミクロのニーズを把握することで、市が共通的なマクロの方向性を持つことができたら良いのではないか。地域づくりの取組はそのきっかけ作りとして良いと思う。

推進会議の参加者を広げて様々な人が関われる形であると良い。(推進会議参加者)

・町会の加入率が下がっているため、新しい形のコミュニティが求められている。

町会に入っていない人の意見をいかに吸い上げられるかが大切なのかもしれない。(推進会議参加者)

市内のみなみ野より先に開発された地域の現状を見てみると、高齢化等の課題が見て取れる。みなみ野は市内でも新しい地域であるが、今後 10 年 20 年先のことを考えると、将来の地域のために今動き出していかなければならない。推進会議は開かれた会議体にしていきたいと考えている。地域の活動団体や住民同士、また地域と行政が協働してできることを住民の皆さんと一緒に取り組んでいきたい。

(未来デザイン室)

・20 年後の八王子を考えると、子どもたちが会議参加者に入り、一緒に話し合う場や、まちの未来について問題提起する教育が必要。年代や置かれている立場が違くと、気が付かない点が多くある。そういったところを埋める繋がりを作る仕組みが必要。

子どもの意見をどう取り入れるかは、市としても課題の1つとして捉えている。子どもや若者にも推進会議などに参加してもらい、関係する課題を話し合ってもらうことは可能であると考えている。(未来デザイン室)

・時間をかけて学校との関係を築き、現在の青少年対策地区委員会のごみ拾い活動に繋がっている。全部はできないけれど、教育などに特化した繋がりなどが、今後つくれたら良い。

・大学にもボランティアセンターがあって、高校にも地域の活動とつながる仕組みがある。そういった仕組みを利用して、若者の意見を聞くことも出来るのではないか。

・他自治体のかつて開発された地域でも、今高齢化が進み始めている。みなみ野もいずれその問題に直面する時が来るので、若者と世代交代をする仕組みが必要。

・新しい住民には、回覧板の手渡す際などに他の住民とコミュニケーションをとる手段を伝えてきた。その甲斐あってか、最近では自治会に加入する住民が増えつつある。

6. 推進会議の今後の進め方

推進会議の今後の進め方を事務局から説明。

質問・意見なし

7. 意見交換「みんなにシェア・みんなでシェア」

会議参加者に共有したいことについてご意見いただきたい旨説明。

質問・意見なし

8. 閉会

○地域カルテの完成までの流れと令和4年度(2022年度)の推進会議のスケジュールについて説明。

令和4年度(2022年度)の推進会議は5月に第1回目の開催を予定している。詳細は、後日通知を送付させていただきます。

以上